

企画展

川喜田半泥子の

やまもの

入門

—茶陶のいろは—

2022

4/23 SAT

→ 7/3 SUN

みこ
見込み
って?

うわぐすり
釉
って?

かたみがわり
片身替
って?

こうだい
高台
って?

たたみつき
畳付
って?

片身替茶碗 銘 寝物語
川喜田半泥子作 館蔵



轆轤を挽く半泥子

開館時間／10時～17時(入館は16時30分まで)

休館日／毎週月曜日[但し祝日の場合は翌日]

入館料／一般500円[400円]・学生300円(高校生以上)

※[]内は20名様以上の団体料金

主催:公益財団法人石水博物館 特別協力:株式会社とせ 半泥子廣永窯

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18
【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789
<https://www.sekisui-museum.or.jp/>



かわきた ほんでいし

石水博物館は、当財団の創設者であり、趣味の陶芸家としても知られる川喜田半泥子(1878~1963)の作品を多数所蔵しています。また、伊勢の豪商川喜田家に伝来した茶道具も、当館コレクションの大きな柱のひとつです。

当館では半泥子の作品を常設展示していますが、「やきもの」の素材や技法などに関する用語や、茶道具の部位や様式を表す名称には特有のものが多く、解説も難解になりがちです。

本展では、作品への理解をより深めていただくため、半泥子の作品と当館所蔵の古陶磁を題材に、茶陶を中心とするやきものいろは(基礎知識)をわかりやすく紹介します。



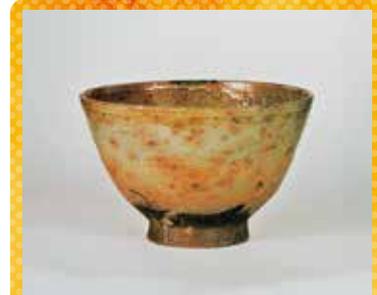
半泥子のフェイバリット
古伊賀水指 銘 鬼の首
桃山時代(三重県指定文化財)

山割れって? ビードロ釉って?



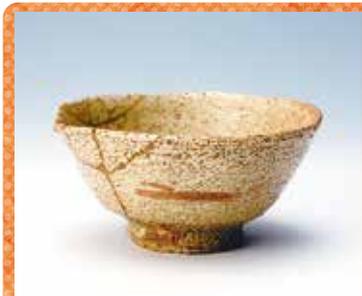
桃山陶の斬新デザイン
黒織部茶碗 銘 暫
桃山時代

織部って? 杓形って?



茶人が送ったひな形がお手本
御本茶碗
朝鮮王朝時代

「ゴホンが出た」って?



茶道具のサステナビリティ
井戸手茶碗 銘 ひばり
川喜田半泥子作

梅花皮って? 金継ぎって?



飼っていた鳥がモチーフ
赤絵香合 銘 仏法僧
川喜田半泥子作

香合って? 緑なのに赤絵?



半泥子の友・人間国宝の作
備前茶入
金重陶陽作

焼締って? 肩衝って?

※すべて館蔵

関連企画 半泥子の手紙を読んでみよう!! II

筆まめだった半泥子の手紙(くずし字の原文)を、学芸員による講座形式で読み解きます。

開催日時: 5月25日(水)、6月15日(水)、6月29日(水)の各日14時~15時

場所: 石水博物館 多目的室

参加方法: お電話にてお申込みください(☎:059-227-5677)。各回定員は10名様(先着順)。テキストとなる手紙は回によって異なります(HPまたはお電話にてご確認ください)。

参加費: 無料(当日の入館料が必要です)

ギャラリートーク 廣永窯の作陶家さんと担当学芸員が展示室にて展覧会をご案内します。

日時: 4月30日(土)、5月8日(日)、6月2日(木)

各日14~15時 ※約30分のギャラリートークのあと、ご希望のお客様には陶土に触れていただけます。

※参加費: 無料(当日の入館料が必要です)

※申し込みは不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、チラシの掲載内容に変更が生じる場合があります。当館ホームページまたは電話にて、最新の情報をご確認ください。

※ご来館の際には、感染症予防対策にご協力ください。

次回展覧会

館蔵名品展《扇の美》

会期: 令和4年7月9日(土)~9月4日(日)

展示替休館 7月4日(月)~8日(金)



交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて約15分、「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて約10分、「青谷口」下車徒歩約8分
- JR阿漕駅より徒歩約12分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。JRの踏切を越え、約200m先岩田池手前の細い道(角に看板あり)を左折、約300m先左側。(駐車場 15台)

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

<https://www.sekisui-museum.or.jp/>